

1 この科目の構成について

教科		保健体育	科目	体育	単位	2	単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3年1～4組（男子）			3 すべての人に健康と福祉を 
使用教科書	なし						
使用副教材	なし						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標： この科目を学習して何を身につけてほしいのか 各種運動の基本動作の習得と運動技能の向上を図る。また、安全と事故防止に注意し、お互いに協力し合って練習・競技・ゲームができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯にわたって運動に親しむ基礎をつくる。
学習内容： この科目で学習する大まかな内容 （１）集団行動 （２）体づくり運動（①体ほぐし運動②体力を高める運動） （３）新体力テスト （４）競技種目 ①バスケットボール ②ソフトボール ③サッカー ④バレーボール ⑤バドミントン （５）体育理論
学習方法： この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1)学校 ・平素から健康に留意し、体調を整え、運動ができる状態を保っておきましょう。 ・仲間と協力して体を動かすことで、運動技能の習得、体力の向上を目指しましょう。 ・安全に運動するために、先生の指示をよく聞き機敏に行動するように心がけましょう。 (2)家庭 ・各競技における大会などに関心を示し、マスメディアを活用することでよりハイレベルな技能を取り入れて下さい。

3 この科目の評価方法について

評価方法： 何を使って評価するのか 1年間の評定は、出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テストを総合的に判断して評価します。
評価における定期考査の割合 50 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点： この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1)関心・意欲・態度 ・自ら進んで運動を実践し、運動の楽しさや喜びを体得しようとしているか。 ・正しい服装で、健康、安全に留意して運動しようとしているか。 (2)思考・判断 ・自己の運動能力と特性に応じた課題解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な仕方を工夫しているか。 (3)技能・表現 ・自己の能力と運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。 (4)知識・理解 ・生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけているか。 ・競技や審判法を理解し身につけているか。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	・オリエンテーション 道徳 集団行動 1 姿勢（気をつけ、休め） 2 方向転換 3 集合、整頓、番号、解散 4 列の増減 5 開列 6 行進 7 礼	・活動目標・年間計画を知り、授業の進め方を理解する。 ・集団行動の主な行動様式を身につけます。 ・集団の約束や決まりを守って行動する。 ・機敏、的確に行動する。 ・お互いに協力して自己責任を果たす。 ・リーダーの指示に従って行動する ・安全に留意して行動できるようにする。	●				
		・体づくり運動 1 腕立て伏せ 2 腹筋 3 背筋 4 スクワット 5 馬跳び 6 柔軟運動 7 簡易的ゲーム ・バスケットボール ・バレーボール ・ドッチボール ※通年の準備運動で行います	・体作り運動に対する関心や意欲を持ってお互いに協力して運動するとともに、健康や安全にも留意する。 ・自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫できるようにします。	●	●		●	
5		・新体力テスト 1 握力 2 立ち幅跳び 3 上体起こし 4 長座体前屈 5 反復横跳び 6 シャトルラン 7 50m走	・意欲的に取り組むとともに、測定の方法や仕方を理解する。 ・測定の結果を踏まえて、自己の能力を高めるよう努力する。 ※測定の結果を計算し評価の参考にする。	●	●		●	
6		・バスケットボール 1 シュート 2 パス 3 ドリブル 4 ディフェンス 5 ゲーム ※球技大会の前は可能な範囲で各競技の練習をします。	・反復練習でシュート力の向上を目指すとともに、状況に応じたシュートができるようにします。 ゲームの中で組織的なディフェンス（マンツーマンとゾーンディフェンス）ができるようにします。 ゲームに必要な審判や係の仕事を覚え、自分たちでゲームの運営ができるようにします。 ・実技試験を実施します。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか					重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目		学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	8	・ ソフトボール		・ 反復練習により基本的技術の向上を目指します。 ・ 正確なピッチングと、場面に合わせた守備ができるようにします。 ・ ゲームに必要な審判や係の仕事絵お覚え、自分たちでゲームが運営できるようにします。 ・ 実技試験を行います。	●	●	●	●	
		1 スローイング							
		2 キャッチング							
		9 3 ピッチング							
	4 ゲーム								
	10	・ サッカー		・ ゲーム中心に行い、ゲームを通してドリブル、キック、シュート等の基本技術の向上を目指すとともに、ゲームの進行や、審判法についても学びます。 ・ 作戦を立ててゲームができるようにします。 ・ 実技試験を行います。	●	●	●	●	
		1 パス							
		2 ドリブル							
		3 シュート							
	4 ゲーム								
	11	・ バレーボール		・ 場面に応じてアンダーハンドパス、オーバーハンドパスが使い分けれるようにします。 ・ セッターとのコミュニケーションをとり、スパイクを打ちます。 ・ 狙ったところにサーブが打てるようにします。 ・ ゲームに必要な審判や係の仕事の覚え、ゲーム運営ができるようにします。 ・ 実技試験を行います。	●	●	●	●	
		12 1 パス							
2 スパイク									
3 サーブ									
4 ゲーム									
3	1 ・ バドミントン		・ ゲームを通して、効果的にストロークやフライングの選択ができるようにします。 ・ シングルス、ダブルスのゲームを行います。	●	●	●	●		
	2 1 ストローク								
	3 2 フライト								
	3 ゲーム								

1 この科目の構成について

教科	体育	科目	体育女子	単位	2
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3 年	1～4 組
使用教科書	なし				
使用副教材	なし				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に努め、自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養い生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を身につけることを目指す。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

(1) 集団行動 (2) 体づくり運動 (A, 体ほぐしの運動 B, 体力を高める運動)
 (3) 新体力テスト (4) 球技 ①バドミントン ②バレーボール ③ソフトボール ④サッカー
 ⑤テニス ⑥バスケットボール (5) 体育理論

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業に積極的に参加し、仲間と協力して体を動かすことで、運動技能の習得・体力の向上を目指す。安全に留意して活動し、ゲームに関しては生徒だけで運営できるよう努める。

(2) 家庭

日々健康に留意し体調を整える。また各競技における大会に関心を示し、マスメディアを活用することで新しい技能を取り入れたり、自分の好きな競技を見つける。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

○行動観察・・・集団の約束事や決まりを順守する、協力と自己の責任、機敏かつ的確な行動、安全に留意した行動、リーダーの指示の観点から判断する。
 ○実技試験・・・単元ごとに実技の試験が実施され実技点として評価する。
 ○授業参加・・・1年間の評定は、実技試験、平常点を参考に総合的に判断して決定する。

評価における定期考査の割合

50 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組み、他者と関わりながら自己の責任を果たそうとしているか。

(2) 思考・判断・表現

・運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止等の科学的な知識や技能を、自己や仲間の課題に応じて学習場面に適用したり、応用したりすることや、課題解決の過程などを活用して新たな課題発見・解決につなげたりしているか。またそれらに理由をつけるなどして他者に伝えることが出来ているか。

(3) 技能

自己の能力と運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうための運動の技能を身に付けているか。

(4) 知識・理解

・各運動で学ぶ技術の名称やその行い方を知っており説明出来るか。より効率の良い体の動かし方や競技の特性を理解しているか。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	・オリエンテーション ・集団行動 1 気をつけ、礼 2 方向変換 3 集合整列整頓 4 列の増減、開列 5 行進 ・体づくり運動 1 柔軟 2 筋力トレーニング 3 バランス 4 反射 5 ボールを用いた運動 柔軟、筋力トレーニングは毎度授業の初めに行う。	・活動目標・年間計画を知り、授業の進め方を理解する。 ・集団行動の主な行動様式を身に付ける。 ・集団の約束や決まりを守って行動する。 ・機敏・的確に行動する。 ・互いに協力して自己責任を果たす。 ・リーダーの指示に従って行動する。 ・安全に留意して行動する。 ・「走る」「跳ぶ」など基礎的な身体活動を行う中で、自身の体に向き合い、筋肉などがどのように動いているか感じたり、仲間と交流しながら活動する中で、心と体が一体となって動いていることに気づく。 ・体力や性別、障害の有無など一人一人の違いを受け入れ、違いに応じた配慮や楽しめる配慮が出来るようにする。	●	●	●	●	
		道徳 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を促進しよう		●	●	●	●	
	5	・新体力テスト 1 握力 2 立ち幅跳び 3 上体起こし 4 長座体前屈 5 反復横跳び 6 シャトルラン 7 ハンドボール投げ 8 50m走 結果は評価の参考とします。	自分の体力・運動能力の現状を確かめるために実施する。 ・測定の方法や測定の仕方を理解する。 ・体力測定に意欲的に取り組み、自分にとって適切な数値が出るように実施に努める。 ・測定の結果を踏まえて、自己の能力を高めるよう努力する。	●	●	●	●	
	6	・バドミントン 1 グリップ 2 ストローク 3 ヘアピン 4 クリアー 5 スマッシュ 6 ゲーム	・場面ごとに必要なラケットの持ち方を身につけ、適宜使用できるようにする。 ・ロブ、クリア、ヘアピンなどシャトルの打ち分けが出来るようになり、ゲームの中で適宜使用することが出来る。 ・シングルス・ダブルスのゲームを行い、また運営できるようにする。 ・実技試験を行う。	●	●	●	●	
2	7 8	・バレーボール 1 パス 2 レシーブ 3 アタック 4 ゲーム	・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど基礎的な技術を身につける。 ・セッターとのコミュニケーションをとり、スパイクを打ったり3段攻撃が出来るようにする。 ・ゲームの中で対戦相手の動きに応じて戦略を決めることが出来る。 ・実技試験を行う。	●	●	●	●	
	9	・サッカー 1 ドリブル 2 パス 3 シュート 4 ゲーム	・ドリブル、パス、シュートなどの基本技術を身に着ける。 ・ゲームの進行や審判法について学び運営する。 ・ゲームの流れをつかみ適切な行動をする。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
3	10	・ テニス 1 ストローク 2 サーブ 3 レシーブ 4 ゲーム	・ 状況に合わせたグリップを使い分け、ラリーが続けられるようにストロークを安定させる。 ・ 狙ったところに打ちラリーを楽しむ。 ・ 簡易ゲームで戦略を確認する。	●	●	●	●	
	11 12	・ ソフトボール 1 スロー&キャッチ 2 バッティング 3 ピッチング 4 ゲーム	・ オーバースロー、サイドスローの技能を身につける。 ・ 1対1でキャッチボールをしながらゴロ、フライの捕球を練習する。 ・ スタンダードモーションでピッチングの練習をする。 ・ ゲームによって各技能の確認をする。 ・ 実技試験を行う。	●	●	●	●	
	1 2 3	・ バスケットボール 1 シュート 2 パス 3 ドリブル 4 ゲーム	・ ドリブル、レイアップシュート、セットシュート等、バスケットの基本技術を身につける。 ・ ゲームによって各技能の確認する。 ・ 実技試験を行う。	●	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	保健体育	科目	体育		単位	3 単位
対象コース	情報・美術	コース	対象クラス	3年5・6組（男子）		3 すべての人に健康と福祉を 
使用教科書	なし					
使用副教材	なし					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標： この科目を学習して何を身につけてほしいのか 各種運動の基本動作の習得と運動技能の向上を図る。また、安全と事故防止に注意し、お互いに協力し合って練習・競技・ゲームができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯にわたって運動に親しむ基礎をつくる。
学習内容： この科目で学習する大まかな内容 （１）集団行動 （２）体づくり運動（①体ほぐし運動②体力を高める運動） （３）新体力テスト （４）競技種目 ①バスケットボール ②ソフトボール ③サッカー ④バレーボール ⑤バドミントン ⑥テニス （５）体育理論
学習方法： この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1)学校 ・平素から健康に留意し、体調を整え、運動ができる状態を保っておきましょう。 ・仲間と協力して体を動かすことで、運動技能の習得、体力の向上を目指しましょう。 ・安全に運動するために、先生の指示をよく聞き機敏に行動するように心がけましょう。 (2)家庭 ・各競技における大会などに関心を示し、マスメディアを活用することでよりハイレベルな技能を取り入れて下さい。

3 この科目の評価方法について

評価方法： 何を使って評価するのか 1年間の評定は、出席状況、授業への取り組み姿勢、実技テストを総合的に判断して評価します。
評価における定期考査の割合 50 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点： この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1)関心・意欲・態度 ・自ら進んで運動を実践し、運動の楽しさや喜びを体得しようとしているか。 ・正しい服装で、健康、安全に留意して運動しようとしているか。 (2)思考・判断 ・自己の運動能力と特性に応じた課題解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な仕方を工夫しているか。 (3)技能・表現 ・自己の能力と運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。 (4)知識・理解 ・生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけているか。 ・競技や審判法を理解し身につけているか。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	・オリエンテーション	・活動目標・年間計画を知り、授業の進め方を理解する。	●				
		道徳	・集団行動の主な行動様式を身につけます。					
		集団行動	・集団の約束や決まりを守って行動する。	●	●	●		
		1 姿勢（気をつけ、休め）	・機敏、的確に行動する。					
		2 方向転換	・お互いに協力して自己責任を果たす。					
		3 集合、整頓、番号、解散	・リーダーの指示に従って行動する					
		4 列の増減	・安全に留意して行動できるようにする。					
		5 開列						
		6 行進						
		7 礼						
5	5	・体づくり運動	・体作り運動に対する関心や意欲を持ってお互いに協力して運動するとともに、健康や安全にも留意する。	●	●		●	
		1 腕立て伏せ	・自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫できるようにします。					
		2 腹筋						
		3 背筋（10回以上）						
		4 スクワット						
		5 馬跳び（連続ジャンプ）						
		6 柔軟運動						
		7 簡易的ゲーム						
		・バスケットボール						
		・バレーボール						
・ドッチボール								
6	7	・新体力テスト	・意欲的に取り組むとともに、測定の方法や仕方を理解する。	●	●		●	
		1 握力	・測定の結果を踏まえて、自己の能力を高めるよう努力する。					
		2 立ち幅跳び						
		3 上体起こし	※測定の結果を計算し評価の参考にする。					
		4 長座体前屈						
		5 反復横跳び						
		6 シャトルラン						
		7 50m走						
		・バスケットボール	・反復練習でシュート力の向上を目指すとともに、状況に応じたシュートができるようにします。	●	●	●	●	
		1 シュート	ゲームの中で組織的なディフェンス（マンツーマンとゾーンディフェンス）ができるようにします。					
2 パス	ゲームに必要な審判や係の仕事を覚え、自分たちでゲームの運営ができるようにします。							
3 ドリブル								
4 ディフェンス								
5 ゲーム	・実技試験を実施します。							
※球技大会の前は可能な範囲で各競技の練習をします。								

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか					重視する評価の観点				CHECK			
学期	月	学習の項目		学習の内容	関	思	技	知	○△×			
2	8	・ ソフトボール		・ 反復練習により基本的技術の向上を目指します。 ・ 正確なピッチングと、場面に合わせた守備ができるようにします。 ・ クラスの人数が少ないため、ゲームはティーボールを行います。 ・ 実技試験を行います。	●	●	●	●				
		1 スローイング										
		2 キャッチング										
		9			3 ピッチング							
					4 ゲーム							
					5 ティーボール							
	10		・ サッカー		・ ゲーム中心に行い、ゲームを通してドリブル、キック、シュート等の基本技術の向上を目指すとともに、ゲームの進行や、審判法についても学びます。 ・ 作戦を立ててゲームができるようにする。 ・ 実技試験を行います。	●	●	●		●		
		1 パス										
		2 ドリブル										
		3 シュート										
		4 ゲーム										
		5 ミニサッカー										
		・ テニス		・ 基本的な技能を習得し、継続してラリーができるようにします。 ・ 簡易ゲーム。	●	●	●	●				
		2 サービス										
		3 ストローク										
		4 簡易ゲーム										
	※雨天時は体育館で屋内競技（ゲーム中心）											
	11		・ バレーボール		・ 場面に応じてアンダーハンドパス、オーバーハンドパスが使い分けられるようにします。 ・ セッターとのコミュニケーションをとり、スパイクを打ちます。 ・ 狙ったところにサーブが打てるようにします。 ・ ゲームに必要な審判や係の仕事を覚え、ゲーム運営ができるようにします。 ・ 実技試験を行います。	●	●	●		●		
			12									
		12	1 パス									
			2 スパイク									
			3 サーブ									
4 ゲーム												
3		1	・ バドミントン				・ ゲームを通して、効果的にストロークやフライングの選択ができるようにします。 ・ シングルス、ダブルスのゲームを行います。	●		●	●	●
			2					1 ストローク				
			3					2 フライング				
			3					3 ゲーム				

1 この科目の構成について

教科	体育	科目	体育女子	単位	3
対象コース	情報ビジネス・美術	コース	対象クラス	3 年	5～6 組
使用教科書	なし				
使用副教材	なし				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に努め、自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養い生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を身につけることを目指す。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

(1) 集団行動 (2) 体づくり運動 (A, 体ほぐしの運動 B, 体力を高める運動)
 (3) 新体力テスト (4) 球技 ①バスケットボール ②バレーボール ③ソフトボール ④サッカー
 ⑤テニス ⑥バドミントン (5) 体育理論

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業に積極的に参加し、仲間と協力して体を動かすことで、運動技能の習得・体力の向上を目指す。安全に留意して活動し、ゲームに関しては生徒だけで運営できるよう努める。

(2) 家庭

日々健康に留意し体調を整える。また各競技における大会に関心を示し、マスメディアを活用することで新しい技能を取り入れたり、自分の好きな競技を見つける。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

○行動観察・・・集団の約束事や決まりを順守する、協力と自己の責任、機敏かつ的確な行動、安全に留意した行動、リーダーの指示の観点から判断する。
 ○実技試験・・・单元ごとに実技の試験が実施され実技点として評価する。
 ○授業参加・・・1年間の評定は、実技試験、平常点を参考に総合的に判断して決定する。

評価における定期考査の割合

50 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組み、他者と関わりながら自己の責任を果たそうとしているか。

(2) 思考・判断・表現

・運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止等の科学的な知識や技能を、自己や仲間の課題に応じて学習場面に適用したり、応用したりすることや、課題解決の過程などを活用して新たな課題発見・解決につなげたりしているか。またそれらに理由をつけるなどして他者に伝えることが出来ているか。

(3) 技能

自己の能力と運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうための運動の技能を身に付けているか。

(4) 知識・理解

・各運動で学ぶ技術の名称やその行い方を知っており説明出来るか。より効率の良い体の動かし方や競技の特性を理解しているか。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	・オリエンテーション	・活動目標・年間計画を知り、授業の進め方を理解する。					
		・集団行動 1 気をつけ、礼 2 方向変換 3 集合整列整頓 4 列の増減、開列 5 行進	・集団行動の主な行動様式を身に付ける。 ・集団の約束や決まりを守って行動する。 ・機敏・的確に行動する。 ・互いに協力して自己責任を果たす。 ・リーダーの指示に従って行動する。 ・安全に留意して行動する。	●	●	●	●	
		・体づくり運動 1 柔軟 2 筋力トレーニング 3 バランス 4 反射 5 ボールを用いた運動	・「走る」「跳ぶ」など基礎的な身体活動を行う中で、自身の体に向き合い、筋肉などがどのように動いているか感じたり、仲間と交流しながら活動する中で、心と体が一体となって動いていることに気づく。 ・体力や性別、障害の有無など一人一人の違いを受け入れ、違いに応じた配慮や楽しめる配慮が出来るようにする。	●	●	●	●	
		柔軟、筋力トレーニングは毎度授業の初めに行う。						
	5	・新体力テスト 1 握力 2 立ち幅跳び 3 上体起こし 4 長座体前屈 5 反復横跳び 6 シャトルラン 7 ハンドボール投げ 8 50m走	自分の体力・運動能力の現状を確かめるために実施する。 ・測定の方法や測定の仕方を理解する。 ・体力測定に意欲的に取り組み、自分にとって適切な数値が出るように実施に努める。 ・測定の結果を踏まえて、自己の能力を高めるよう努力する。	●	●	●	●	
		結果は評価の参考とします。						
	6	・バドミントン 1 グリップ 2 ストローク 3 ヘアピン 4 クリアー 5 スマッシュ 6 ゲーム	・場面ごとに必要なラケットの持ち方を身につけ、適宜使用できるようにする。 ・ロブ、クリア、ヘアピンなどシャトルの打ち分けが出来るようになり、ゲームの中で適宜使用することが出来る。 ・シングルス・ダブルスのゲームを行い、また運営できるようになる。 ・実技試験を行う。	●	●	●	●	
	7 8	・バレーボール 1 パス 2 レシーブ 3 アタック 4 ゲーム	・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど基礎的な技術を身につける。 ・セッターとのコミュニケーションをとり、スパイクを打ったり3段攻撃が出来るようにする。 ・ゲームの中で対戦相手の動きに応じて戦略を決めることが出来る。 ・実技試験を行う。	●	●	●	●	
2	9	・サッカー 1 ドリブル 2 パス 3 シュート 4 ゲーム	・ドリブル、パス、シュートなどの基本技術を身に着ける。 ・ゲームの進行や審判法について学び運営する。 ・ゲームの流れをつかみ適切な行動をする。	●	●	●	●	

道徳



年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
3	10	・ テニス 1 ストローク 2 サーブ 3 レシーブ 4 ゲーム	・ 状況に合わせたグリップを使い分け、ラリーが続けられるようにストロークを安定させる。 ・ 狙ったところに打ちラリーを楽しむ。 ・ 簡易ゲームで戦略を確認する。	●	●	●	●	
	11 12	・ ソフトボール 1 スロー&キャッチ 2 バッティング 3 ピッチング 4 ゲーム	・ オーバースロー、サイドスローの技能を身につける。 ・ 1対1でキャッチボールをしながらゴロ、フライの捕球を練習する。 ・ スタンドードモーションでピッチングの練習をする。 ・ ゲームによって各技能の確認をする。 ・ 実技試験を行う。	●	●	●	●	
	1 2 3	・ バスケットボール 1 シュート 2 パス 3 ドリブル 4 ゲーム	・ ドリブル、レイアップシュート、セットシュート等、バスケットの基本技術を身につける。 ・ ゲームによって各技能の確認する。 ・ 実技試験を行う。	●	●	●	●	